



揺籃 (ようらん) とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

### ◆授業公開&PTA総会 (5月20日㊥)

この日は、午前中に授業公開、そして午後にはPTA総会を実施しました。

授業公開には、中条校の保護者の皆さまの他に、中学生と保護者の方々20名にご参加いただきました。

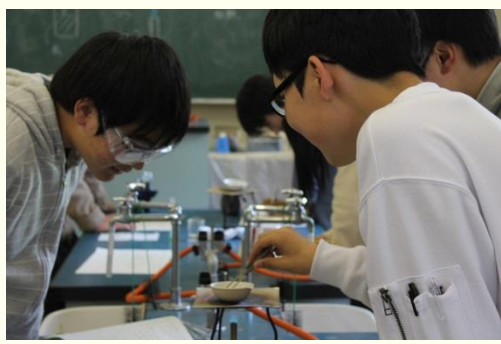
お書きいただいた皆さまの感想を紹介します。

♪生徒の皆さんが楽しそうに授業を受けている印象でした。少人数の授業なので、先生が目が行き届いているようでした。移動時に生徒さんが挨拶をしてくれ、とても気持ちよかったです。(中学生保護者)

♪授業は、標準と応用で分かれていて少人数でやるのがいいと思いました。自然も豊かで森の散策などできるのがいいなと思いました。(中学生)

♪今日は季節的にお天気も良かったせい、自然の中のもとても良い環境で勉強できるのがいいなと思いました。生徒数も少なく、授業も集中して取り組んでいる姿が見られました。授業のスピードもゆっくりで、ゆったりとした印象を持ちました。先生の温かさも感じました。(中学生保護者)

♪先生と楽しそうに授業をやっているようで良かったです。内容もわかりやすく、丁寧で良かったです。(中条校保護者)



### ◆ちょっといい話◆

平日の夕方のことです。帰宅しようとした一人の生徒が学校前の道路を歩いていました。ポケットに入れてあった自転車の鍵を取り出そうとしたところ、手を滑らせて鍵を落としてしまいました。そして運悪く側溝の蓋の小さな隙間から水路に落ちてしまいました。

その生徒は自分でなんとかしようとして側溝の蓋を持ち上げます。その様子に事務室の職員が気づき、「どうした」と声をかけに行きます。また、玄関を通った教師も、側溝の中を覗き込んでいる2人の姿を見かけ現場に行きます。そして、その後迎えに見えたお母さん、たまたま通りかかったご近所の方、さらに様子に気づいた教師2名、事務職員1名が加わり、計8名で自転車の鍵を探すことになりました。30分以上かかったようですが、ついに鍵が見つかり、ご近所の方が針金で鍵をひっかけて取っていただきました。

困っている人のためにご近所の方をはじめみんなで一生懸命手助けをする・・・本当に温かい地域だと感じました。そして、翌日の朝、その生徒が職員室にやってきて「昨日はありがとうございました」と深々頭を下げてお礼を言いに来ました。温かい地域に心優しい生徒が育つという具体を経験させていただきました。

### ◆生徒大会◆

4月27日(木) LHRの時間に生徒大会が行われました。この大会では、生徒の自主的活動である「委員会活動」と「部活動」に関する今年度の活動について審議が行われました。途中、フロアの会員から意見要望も出され、中身の濃い大会となりました。

中条校は小さな学校であるため、生徒会の組織に工夫があります。例えば委員会活動では、学校管理委員会・保健体育委員会・図書委員会・広報委員会の4つしかありません。学校管理委員会という名前は馴染みのない言葉だと思いますが、この委員会は他の学校で耳にする校風(生活)委員会・清美委員会・選挙管理委員会の活動を一手に引き受けて行う委員会です。このことからわかるように、中条校では一人一人が主役になって動かないと各活動が成り立ちません。一人一人が活躍することができる学校です。



### ◆1年生学校設定科目

#### 「チャレンジ」の様子◆

【園芸】4月24日(月)チャレンジの時間を使って、①ジャガイモの植えこみ ②炭焼き用の薪運び ③学有林の散策を行いました。夏が来ればジャガイモの収穫となります。昨年は文化祭で「じゃがバター」を来校された方に振る舞っていましたが、今年はどんな計画が出てくるか・・・楽しみです。



【地域史】5月1日と8日の二週にわたって地域の歴史を研究されている大日方悦夫先生から西山地域の歴史について教えていただきました。「虫倉山南斜面の元7ヶ村を「西山」と呼んでいた。」「中条校の前身である西部農学校が誕生したとき、当時は全国でも珍しい男女共学であった。」等々興味深いお話しをお聞きしました。

